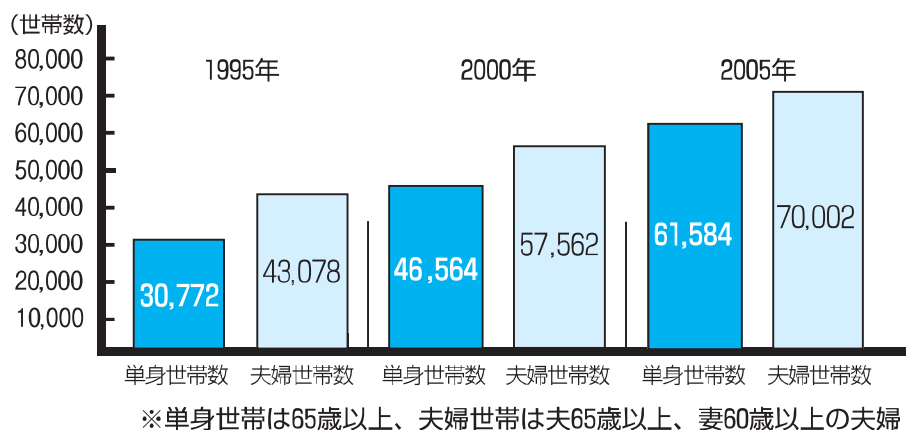


図2 札幌市における高齢者単身世帯数・夫婦世帯数の推移



このことは、高齢者にとって、現役を終えて老夫婦だけの世帯になり、やがて、配偶者が亡くなり、人生の最期は「ひとり暮らしが当たり前」となるという環境がすぐそこにあるといえます。

一方、急速な高齢化のもと、国の社会保障の方向としては、要介護状態になった際に、病院や老人施設に入居するのではなく、自宅から通院、または在宅介護へとシフトしていく傾向にあります。

つまり、これからは、自分の子どもにも施設にも依存しない生き方が求められる時代に入っているといえます。

3 地域の再生と新たなコミュニケーションづくりの必要性

さらに札幌市は、地域との関係を表す指標としての町内会や老人クラブの加入率も低下しています。そのため、人間関係が希薄になり、地域の中での孤立や孤立死が生じやすい環境になっています。

孤立死を防ぐためには、予防と早期発見が重要です。そのためには、高齢者が安心して暮らせる環境（ハード面）と市民同士の結びつき（ソフト面）の仕組みづくりが不可欠です。しかし、人と人とを結びつける通常の「コミュニケーション」だけではすべてを解決できません。今後は人同士が具体的に行動し合う新たなコミュニケーションツールとしての「見守り」の構築や地域社会の再生が課題です。

こうした多様な市民同士の結びつきが気軽にできる地域づくりこそ、高齢社会における都市のあり方として求められています。

II 孤立死ゼロに向けた取組みと経過

1 さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の設置

高齢者を取り巻く環境が大きく変わってきている中で、都心部を中心に、地域から孤立した状況で、誰にも看取られずに亡くなる「孤立死」の発生が、近年大きな社会問題になってきています。

札幌市では、このような状況をふまえ、特にマンション等の集合住宅に住むひとり暮らし高齢者等の孤立死を防止する観点から、厚生労働省の「孤立死ゼロ・モデル事業」補助金を受け、平成19年10月に「さっぽろ孤立死ゼロ推進会議」を設置し、市民全体への普及啓発に重点を置きつつ、孤立死の防止に向けた事業（事業名：「さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業【札幌あい（愛）・あい（目）ネット事業】」）に取り組むこととしました（設置要綱及び委員名簿はP27、28参照）。

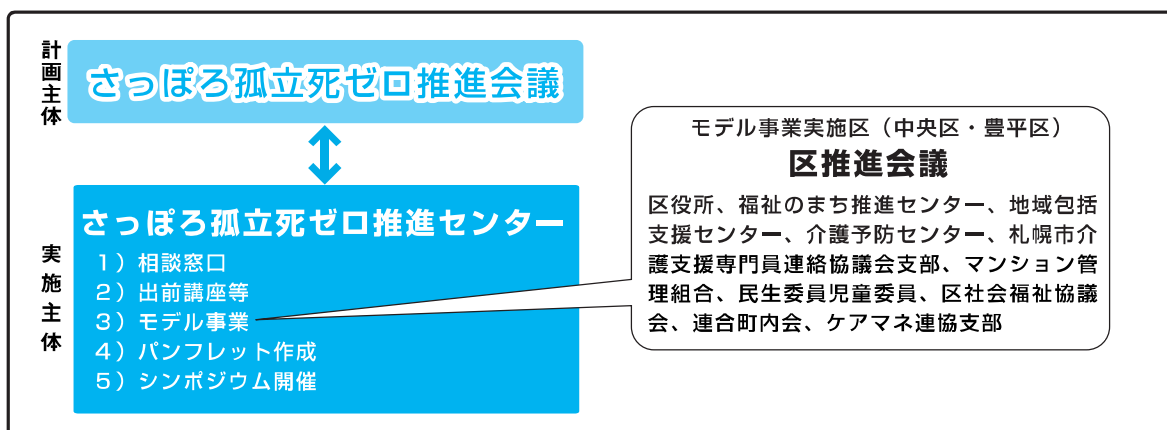
孤立死の対策には、孤立死を発生させない予防的な面と亡くなってから長期間放置された状況を極力なくしていくことの両面があります。

札幌市では、このモデル事業を実施するにあたり、対策を講ずべき者として「2週間毎程度に見守る者がいない独居または高齢者のみ世帯の高齢者」を対象としました。

2 さっぽろ孤立死ゼロ推進センターの設置

「さっぽろ孤立死ゼロ推進会議」では、孤立死防止の具体的な取組みを実施するために、「さっぽろ孤立死ゼロ推進センター」（運営：NPO法人シーズネット）を設置しました。センターでは、平成19年12月3日から、相談窓口の設置、出前講座、区モデル事業の実施、シンポジウムの開催などの活動を行っています。

さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業の組織体系



さっぽろ孤立死ゼロ推進センター活動実績

1) 相談窓口

内 容	19年度	20年度	合 計
	19年12月～20年3月	20年4月～21年3月	
悩み相談	29	14	43
センター内容の問合せ	80	166	246
出前講座の問合せ	46	105	151
マンション管理組合から相談	19	53	72
シンポジウムとの問合せ	262	218	480
その他	15	23	38
計	451	579	1030

2) 出前講座等

内 容	19年度	20年度	合 計
	19年12月～20年3月	20年4月～21年3月	
出前講座の実施	10回	17回	27回
	176人	686人	862人
出前講座説明会の開催	3回	—	3回
	19人	—	19人
その他（他団体主催研修等の協力）	5回	12回	17回
	623人	1261人	1884人
計	818人	1947人	2765人

3) モデル事業

孤立死を防ぐために必要なネットワークづくりに向けたモデル事業を、中央区及び豊平区の2区で実施しました（詳細については後述）。

4) パンフレットの作成（チラシ6000枚）



【配布先】

マンション管理組合、地区福祉のまち推進センター、民生委員児童委員、老人クラブ、地域包括支援センター、介護支援専門員連絡協議会

5) シンポジウム開催

① 「高齢者の孤立死を考える」・・・参加者 331人

- ・日時：平成20年1月31日（木）13～16時
- ・基調講演：「新宿区における孤立死の現状と取組み」
講師：新宿区健康部高齢者サービス課長 小沢 健吾 氏
- ・シンポジウム：「孤立死防止に向けた取組み」

(パネリスト)

札幌市介護支援専門員連絡協議会会長	奥田 龍人 氏
社団法人北海道マンション管理組合連合会専務理事	平野 恵一 氏
中央区福祉まち推進センター連絡会議運営委員長	森竹 俊夫 氏
NPO法人シーズネット理事長	岩見 太市 氏

(コーディネーター)

北翔大学人間福祉学部教授 林 恭裕 氏

② 「孤立死を考える」・・・参加者 298人

- ・日時：平成20年10月23日（木）13～16時
- ・基調講演：「孤独死ゼロ作戦」
講師：松戸市常盤平団地自治会会長 中沢 卓実 氏
- ・シンポジウム：「孤立死防止に向けた新たな取組み」

(パネリスト)

カトレアハイツ札幌 管理組合理事長	菅野 盈 氏
ラポール南山鼻 住宅管理組合理事長	町田 信一 氏
月寒地区民生委員児童委員協議会	福井 栄子 氏
豊平区保健福祉部活動推進担当係長	鈴木 はるみ 氏

(コーディネーター)

NPO法人シーズネット理事長 岩見 太市 氏